



さろまげんき王国

保健福祉課保健推進係

☎ 2・1212

大人の風しん予防く抗体検査・予防接種を受けましょう

みなさんは風しんという病気についてご存じでしょうか。風しんとは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症のことを言います。感染経路は飛沫感染で、感染力は非常に強くインフルエンザの約2倍とされています。

風しんにかかると…

風しんにかかると約2〜3週間後に症状が現れます。熱は出ないことが多く、37〜38℃程度の微熱で終わることがあります。発熱の数日前に耳や首の後ろのリンパ節が腫れ、発熱と同時に赤く細かい発疹が出現します。発疹は2日程度で自然に消え、熱も3〜4日で下がります。

大人が風しんにかかると発熱や発疹の期間が長引いたり、高熱により関節炎を起したりするなど、子どもより症状が重くなると言われています。

妊婦さんがかかると…

風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風しんにかかると、先天性風しん症候群といった、難聴や白内障、緑内障、先天性心疾患等の障害を持った赤ちゃんが生まれることがあります。(図1)

妊娠中の女性は風しんの予防接種を受けることができないため、妊娠を希望される女性で2回予防接種を受けていない方(平成2年4月2日以前生まれ)は早めに接種をしましょう。また、妊婦さんの周りにいる人(特に、妊婦さんの夫、お子さん、その他の同居家族等)は風しんの感染予防に気を付けてください。

図1

先天性の眼の病気

- ・白内障
- ・網膜症
- ・緑内障 など

先天性の耳の病気

- ・難聴

先天性の心臓の病気

- ・動脈管開存症など



低出生体重(小さく生まれる)

- 血小板減少性紫斑病 など

「かかったから大丈夫」は危険!

一度風しんにかかると、多くの場合生涯風しんにかかることはないと言われています。しかし、子どものときにかかったという方の中には、麻しん(はしか)やリンゴ病等の別の病気にかかっていたのを本人や親が勘違いしていたという場合があります。風しんにかかったことがあるという方を血液検査したところ、約半数が実際には風しんではなかったという調査結果があります。また、「一度予防接種を受けたから大丈夫」というのも注意が必要で、1回の予防接種ではウイルス感染を防ぐ抗体が体内で十分に作られない場合があります。過去に予防接種を受けていても、年月の経過に伴って抗体が減少し、感染する可能性が高くなります。そのため、平成2年4月2日以降に生まれた方は2回予防接種を受けています。「自分はかかったことがあるから、1回予防接種を受けたから大丈夫」と安心せず、まずは抗体検査で確認することをお勧めします。

風しん抗体検査と予防接種について

風しんの感染拡大防止対策のため、平成31年度(令和元年度)から令和3年度にかけて、風しんの抗体を持っている割合(抗体保有率)の低い世代の男性(表1)を対象に、抗体検査・予防接種の勧奨が開始され、無料クーポン券を送付しています。今年度が無料クーポン券が利用できる最終年度です。

表1 風しんワクチンの接種状況

生年月日	平成2年4月2日以降	昭和54年4月2日～平成2年4月1日	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日	昭和37年4月1日以前
男性	2回個別接種 ※特例措置含む	1回 幼児または中学生の時に 個別接種	未接種	未接種 (大半が自然感染)
女性			1回 中学生で集団接種	

※特例措置：平成20年度～平成24年度の5年間は中学1年生及び高校3年生に2回目の麻しん風しん混合ワクチンを実施している。

◆対象者：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

◆有効期限：令和4年2月28日まで

平成31年度(令和元年度)、令和2年度に送付された期限切れのクーポン券も有効です

□抗体検査を受ける場合

- ①希望する医療機関に予約し、抗体検査を受ける。
- ②町の健診(8月、1月実施予定)で抗体検査を受ける。

□抗体検査で「抗体なし」となった場合、予防接種を受けることが必要です。

予防接種は風しんと麻しん(はしか)の2つを予防する「麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)」を打つことを国は推奨しています。風しんだけの単独ワクチンもありますが、成人は麻しんの抗体が少ない方も多く、特に妊娠中に麻しんにかかるると流産や早産の危険性が高くなります。また、妊娠を希望する女性や妊娠している女性の配偶者について、任意予防接種を受けられた際の費用を一部助成しています※。クーポン券の対象にならない方でも当てはまれば利用できますので、保健福祉課保健推進係までご相談ください。

※風しん未罹患者及び風しんワクチン未接種者に限ります。

抗体検査・予防接種はクリニックさろまで実施できますが、実施可能な医療機関等や「風しんの追加的対策」の詳しい情報は厚生労働省ホームページに掲載されています。



風しんの追加的対策

検 索



様々な感染症が流行している中、風しんの予防のためには予防接種を受けることが大切です。妊婦さんやその家族だけでなく、地域全体で予防に努めていきましょう。